

文化芸術の力で豊岡を面白いまちに

「このまちには何も無い」

私たち大人は子どもたちにそう伝えて

子どもたちはふるさとから離れていった。

日本全国が、加速度的に進む人口減少という課題に直面している。
豊岡もその例外ではない。

若者が地方を去り、大都市へと流れる背景には

若者の「地方は文化的、社会的に劣っている」という

強いイメージがあるからではないか。

だとしたら、逆に文化芸術の力で地方をもっと面白くできたら

この強いイメージを払拭できるのではないだろうか。

豊岡には川があり、海があり、山がある。

伝統的なまち並みや産業もある。

そして、それらを源泉とした地域固有(ローカル)な文化芸術がある。

豊岡で優れた文化芸術を創造し、発信することで

人口規模は小さくても、世界から尊敬され、尊重されるまち

「小さな世界都市・Local&Global City」を実現できたら

豊岡で暮らすことに自信と誇りを持つ若者が増えるのではないか。

【豊岡市の人口】

豊岡市地方創生総合戦略(第4版)では、本市の人口は2010年の85,592人から40年には57,608人へと、約33%減少すると推計されています。人口減少の最大の要因は、若者の社会減です。

人口減少対策で最も注視すべき数字は、10代の社会減を20代の社会増でどれだけ取り戻したかを示す「若者回復率」です。国勢調査に基づく若者回復率は、2010年は34.2%でしたが、15年では39.5%で、5.3ポイント上昇しました。問題は、男女の別です。男性は34.7%から52.2%へと17.5ポイント上昇しましたが、女性は33.4%から26.7%へと6.7ポイント減少しています。

若者、特に女性に選ばれるセンスの良いまちづくり・多様な生き方に応じた居場所や出番のあるまちづくりが求められています。

この先も人は減る。

しかし、若者に選ばれるまちづくりができれば

人口減少を緩和することができるかもしれない。

さらに、優れた文化芸術は、人々の心を豊かにするだけではなく
まちの質を高め、多くの人を惹き付け、活力を生み出してくれる。

豊岡は文化芸術によるまちづくりに挑戦する。

せっかく暮らすなら

みんなで楽しめるまちにしている方が面白い。

困難な挑戦に見えるかもしれないが

このまちは、日本の野外で一度は絶滅したコウノトリを
再び野に返した豊岡だ。

市民の情熱で困難な挑戦でも実現できることを知っている。

今回の挑戦も

特集

私たちがなら、できる。

※特集には本年度実施事業を掲載